

第17回 神奈川県移動性(モビリティ)向上委員会

委員会の検討経緯と論点

これまでの検討経緯
今回の論点

平成29年7月25日

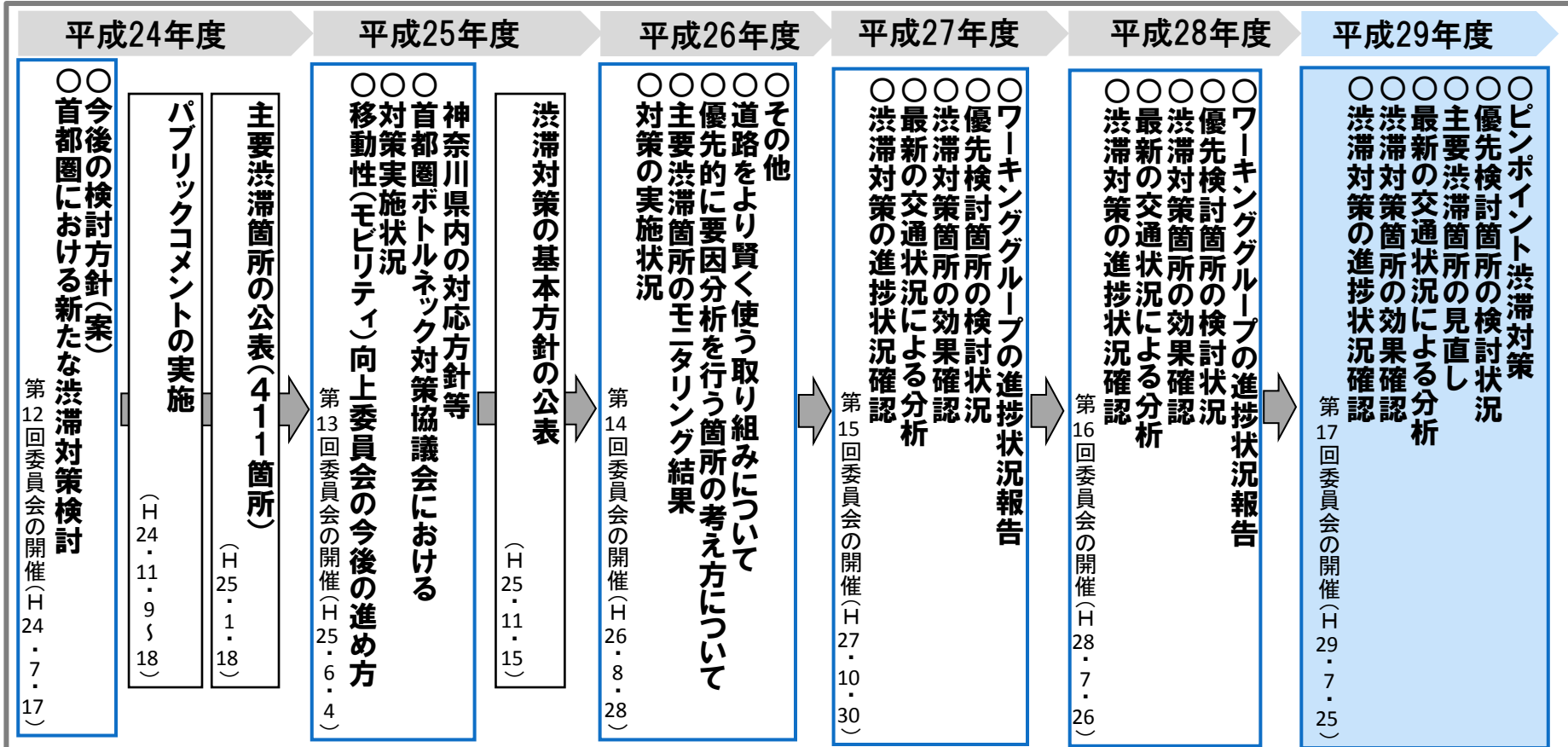
1 委員会の検討経緯と論点

1-1 これまでの検討経緯

【渋滞対策の方針】

- 「今後の高速道路のあり方中間とりまとめ(高速道路のあり方検討有識者委員会、平成23年12月)」において、効率性を阻害する渋滞ボトルネック対策の重要性が指摘されたこと
- 社会資本整備審議会道路分科会基本政策部会においても、渋滞対策を含め、道路利用の適正化が議論されていること
- 交通観測技術の進展・普及により、道路交通状況の詳細に係るデータが容易に取得可能となるなど、観測環境に大きな改善が見られること等を踏まえ、課題の状況を継続的に把握・共有するとともに、新たな交通観測データの分析等により効果的な渋滞対策の推進に取り組むこととした。

【取り組みの流れ】



1 委員会の検討経緯と論点

1-2 今回の論点

○これまでの取り組みを踏まえて、以下の点について意見交換を実施していただきたい。

【議論していただく内容】

☞ 主要渋滞箇所の見直し（資料5）

- ・主要渋滞箇所の見直し(解除)フロー適用結果について
- ・ヒアリングの実施方針について

☞ 「優先的に対策を検討するための要因分析を行う箇所」の選定結果（資料6）

【今回報告する内容】

☞ 既存渋滞対策事業の進捗状況について（資料2）

☞ 渋滞対策箇所の効果確認について（資料3）

- ・圏央道開通による効果
- ・その他事業による効果
- ・道路を「賢く使う」観点での効果

☞ 主要渋滞対策箇所のモニタリング結果について（資料4）

☞ ピンポイント渋滞対策について（資料7）